

令和7年3月11日

北関東防衛局
局長 森 浩久 様

所沢市基地対策協議会
会長 小泉 学



所沢通信基地内で発生した火災への対応等について（要請）

早春の候 貴職におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。また、日頃より当協議会の活動につきまして多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和6年12月に発生した標記の火災については、所沢市より当協議会にもその概要が報告されているところです。

本火災につきましては、埼玉西部消防局の迅速な対応により、人的被害が生ずることなく、消火活動が行われましたが、近隣の学校では一部の授業や生徒の活動に支障が出るなど、市民生活にも影響があったことは事実であります。

米軍通信基地は本市のほぼ中央に位置し、周辺には民家のほか、学校や病院などの施設も多く存在しております。そのような中でこの度の火災が発生したことは誠に遺憾であり、「基地全面返還は市民の願い」をスローガンに掲げ、基地の全面返還に向け取り組んでいる当協議会といたしましても、看過できるものではありません。

つきましては、米軍に対し下記のとおり求めるものであります。

貴局に於かれましては、米軍に当協議会からの要請内容をお伝えいただけますようお願い申し上げます。

- ・この度の火災の発生原因を踏まえ、今後の再発防止を徹底すると共に、その防止策・対応策について市民に説明を行うこと。
- ・基地内における初期消火活動を徹底すること。
- ・自己管理が行えない施設や区域については、早期返還を行うこと。

以上